

第23回

土岐市 織部の日記念事業

会期 3月4日(金)～6日(日) 午前10時～午後4時30分
(初日は午前10時30分から)

メイン会場 セラトピア土岐・多目的大ホール

美濃陶芸協会茶陶展

美濃陶芸協会員による新作茶陶約80点を展示します。美濃焼を代表する陶芸家の手による逸品をご堪能ください。



▲美濃陶芸協会・庄六賞「黒織部茶碗」(林恭助作)
桃山時代にも使われた和紙を用いた技法で、黒織部の地に黄瀬戸の丸や四角を配した作品です。

花と器展

会場内を春の香りと彩りで演出します。
※3月4日(金)午後3時30分から、華道家・假屋崎省吾による生け花デモンストレーションが行われます。
《協力：土岐市茶華道連盟、土岐市陶芸協会、土岐市美術作家連盟》

無料休憩コーナー

美濃焼作家による器でコーヒーを飲み、手作りの陶芸作品のよさを感じてください。

会期中、毎日先着300人限定で、手作りクッキーをプレゼント。

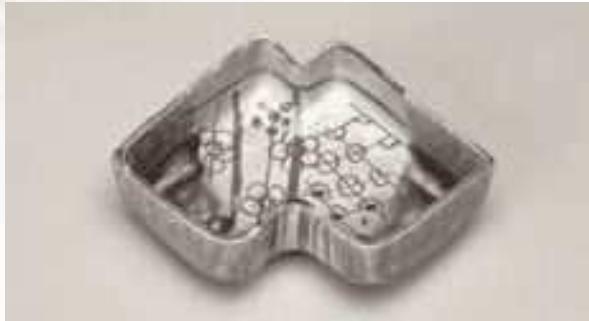
ミナモと記念写真を撮ろう！

5日(土)・6日(日)の毎時0分から15分間、子どもたちに人気のミナモ(「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」マスコットキャラクター)が来場します。



土岐市収蔵品展

市所蔵の美術品・陶芸品のうちから、桃山時代から現代に至る美濃焼の歴史を映し出す品々を紹介します。市が誇る歴史と財産を、この機会にぜひご覧ください。



▲青織部向付
桃山時代に元屋敷窯で焼成された食器です。奇抜な形に整えて、緑色の釉を掛け分け、梅の文様を施しています。

林屋晴三講演会

■日時 3月6日(日)午後1時～
■場所 セラトピア土岐・小ホール
■内容 林屋晴三氏(東京国立博物館名譽館員、菊池寛実記念 智美術館館長)による、現代茶陶についての講演会です。

暮雪庵茶会

■日時 3月5日(土)・6日(日)午前10時～午後3時
■会場 織部の里公園・暮雪庵
■内容 松坂屋創業の伊藤家別荘「揚輝荘」にあった茶室「暮雪庵」。静けさの中で一服いかがですか。
■料金 一服 500円
《協力：土岐市茶華道連盟》



現代において、今なお斬新で前衛的な織部焼。その豊かな造形・色彩・文様は、見る者の心を引き付けます。

市では、織部焼が史実に登場した2月28日を「織部の日」と制定し、毎年この時期に記念行事を開催しています。

美濃焼産業の基盤が築かれた時代に思いをはせ、織部焼に注がれた創造の精神をたたえ、広めようとするものです。

皆さん、ぜひお出掛けください。

■問い合わせ 文化振興課（内線554）



吉田織部像／蔵内佐斗司

陶芸作品即売会～見つけよう！こだわりの器～

抹茶茶わん、コーヒーカップ＆ソーサーなどから、自分に合ったものを選んでください。お値打ちな価格で販売します。

《協力：美濃焼伝統工芸品（協）、土岐市陶芸協会》

美術作家連盟春季展（協賛事業）

セラトピア土岐・美術ギャラリー

市美術作家連盟会員による日本画、洋画、工芸などの力作が展示されます。

《主催：土岐市美術作家連盟》

ちびっこ作陶展・東濃特別支援学校作陶展

「やきもののまち」の明日を担う地元の子どもたちの力作を展示します。

市民茶会

展示をゆっくり鑑賞した後に、お抹茶を一服いかがですか。気軽に楽しめます。

■料金 一服 300円

《協力：土岐市茶華道連盟》

協賛事業

假屋崎省吾×紫舟 花と書のコラボレーションライブ

- 日 時 3月4日(金) 午後7時開演
- 場 所 文化プラザ・サンホール
- 内 容 華道家・假屋崎省吾と書家・紫舟のライブパフォーマンスとトークが彩る優美なひととき。
- 入場料 4,000円（全席指定）

チケットはプラザ窓口にて好評発売中

問い合わせ 文化プラザ（☎55711）

美濃陶磁歴史館・特別展 「桃山時代の価値観」 ～九州諸窯の成立と美濃～



▲志野水指（福岡市美術館）

■会期 2月26日(土)～

5月8日(日)

■会場 美濃陶磁歴史館

■内容 豊臣秀吉の朝鮮

出兵を契機として成立した九州諸窯と美濃窯の製品の変化を比較し、桃山時代の美濃窯の生産のあり方を再検討し紹介します。

■入館料 ▷大人200円 ▷大学生100円 ▷高校生以下無料 ※20人以上の団体は、割引制度あり

■会期中の休館日 月曜日（2月28日、3月21日を除く）、3月22日(火)

■開館時間 午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

■その他 2月28日(月)と3月4日(金)～6日(日)は入場無料です。絶好の機会をお見逃しなく。

■問い合わせ 美濃陶磁歴史館（☎551245）

秋川雅史コンサートツアー ～ファンタジスタ～

■日 時 3月5日(土) 午後4時開演

■場 所 文化プラザ・サンホール

■内 容 テノール歌手として、進化と挑戦を続ける秋川雅史。数々の名曲とのコラボレーションで新たな息吹を注ぎ込みます。

■入場料 5,000円（全席指定）